

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-352980

(43) 公開日 平成4年(1992)12月8日

(51) Int.Cl.⁵

A 6 3 F 9/04

識別記号

庁内整理番号

G 7130-2C

A 7130-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平3-155888

(22) 出願日 平成3年(1991)5月30日

(71) 出願人 391021868

株式会社トイコー

東京都墨田区染平4丁目7番12号

(72) 発明者 鈴木 勝躬

東京都江戸川区篠崎7丁目19番5号

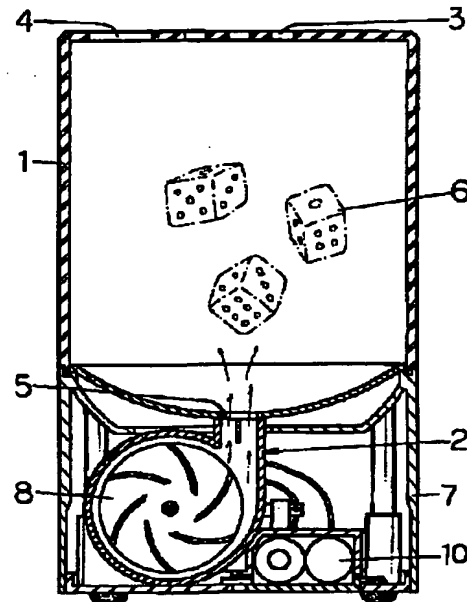
(74) 代理人 弁理士 杉山 泰三

(54) 【発明の名称】 サイコロ振り器

(57) 【要約】

【目的】 操作中に手が疲れることなく、且つ手加減による作爲が困難で公正を保つことができるサイコロ振り器を提供すること。

【構成】 軽量のサイコロを収納する中空容器1と、その中空容器1内への風送り部2とを併設する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 軽量のサイコロを収納する中空容器1と、その中空容器1内への風送り部2とを併設してなるサイコロ振り器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、スゴロクなどの遊戯等において使用するサイコロを振るための器具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、サイコロは、手で投げられるか、容器に入れてその容器を手で振るか、いずれにしろ主に手を振るという操作を必要としていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように、手を振るという操作は、まず手が疲れるという問題があり、また、熟練者になると手加減によって容易に任意の目を出すことも可能なので公正が保てない虞もあった。

【0004】 そこで本発明は、手が疲れることがなく、且つ手加減による作為が困難で公正を保つことができるサイコロ振り器の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明のサイコロ振り器は、軽量のサイコロを収納する中空容器1と、その中空容器1内への風送り部2とを併設してなるものである。

【0006】

【作用】 中空容器1内に収納される軽量のサイコロを、風送り部2から吹き出す風によって飛散させ、手を振るという従来の操作の代りとしてすることができる。

【0007】

【実施例】 以下、図面に基づき実施例について詳説する。まず中空容器1はプラスチック製の透明な円筒形で、その天面に細長い複数の通気孔3と円形のサイコロ投入孔4を穿設し、また曲面状に窪んだ底面中央部に風吹出口5を設けている。この中空容器1の内部には、その天面のサイコロ投入孔4からサイコロ6が投入されることになる。なお、サイコロ投入孔4は、サイコロ6が同所から飛び出さないように、天面の中央部よりも、端寄りの位置に設けた方がよい。サイコロ6は、風によって吹き上げられる程度に軽量であることを要し、例えば、発泡スチロール等の材料によって形成すればよい。

なお、サイコロ6は、予め中空容器1の内部に入れておくことも可能で、その場合は、サイコロ投入孔4は不要である。中空容器1の下方には、風送り部2を内部に装備した円筒状の基台7が接続されている。風送り部2は、ファン8と、ファン8を回転させるモータ9と、モータ9を作動させる電池を装填する電源部10と、スイッチ11とから構成されている。ファン8の風吐出口は上記の風吹出口5に連通し、基台7の底面には空気吸入口12が穿設されている。スイッチ11を押して回路をONにすると、モータ9によりファン8が回転して、風吹出口5から風が吹き上げ、その風によってサイコロ6が吹き飛ばされる。そして、再度スイッチ11を押して回路をOFFにすると、ファン8の回転が止まり、風吹出口5からの風の吹き上げが止まり、サイコロ6は、中空容器1の底面上に落下して、無作為にサイコロの目が出ることになる。

【0008】 なお、上記の実施例では、風送り部2を構成するために、ファン8等を用いていたが、風送り部2として吹子等を用いる実施例も可能である。また、直接に口でパイプ等を吹くことによりサイコロ6を吹き上げるようにしてもよい。

【0009】

【発明の効果】 本発明は以上の通りであり、手を振る操作が不要となって手が疲れるという問題が解消し、また、サイコロが風に吹き上げられてから落下する過程を経て無作為にサイコロの目が出るので、人が手加減によって作為的に任意の目を出すことが極めて困難となって公正が保ちやすいという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 外観斜視図である。

【図2】 図1のA-A線における断面図である。

【図3】 図1のB-B線における断面図である。

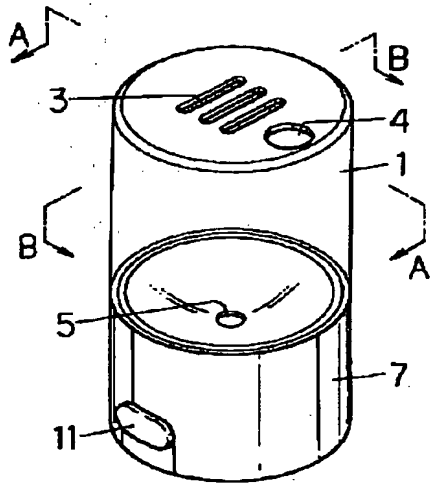
【図4】 風送り部の斜視図である。

【図5】 風送り部の平面図である。

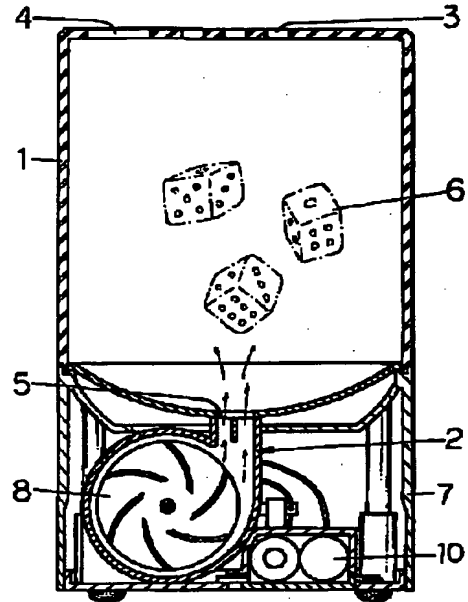
【符号の説明】

1 中空容器	2 風送り部
3 通気孔	4 サイコロ投入孔
5 風吹出口	6 サイコロ
7 基台	8 ファン
9 モータ	10 電源部
11 スイッチ	12 空気吸入口

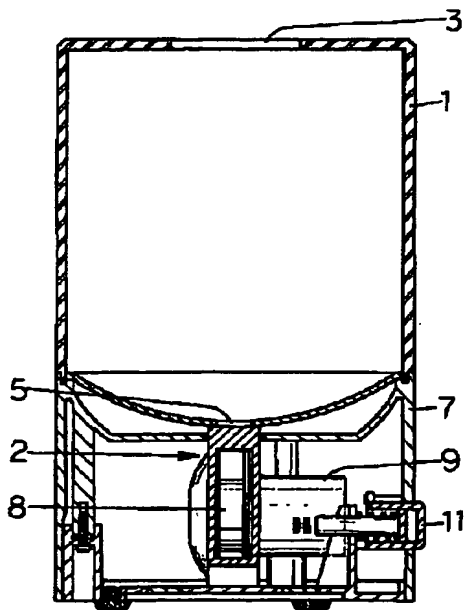
【図1】



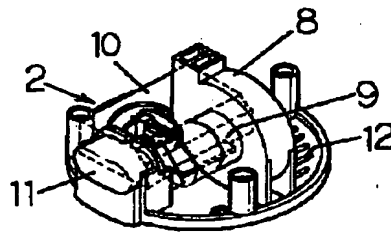
【図2】



【図3】



【図4】



(4)

特開平4-352980

【図5】

